

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評価日 2015年6月6日

団体名	GOENフェスティバル実行委員会		
事業名	GOENフェスティバル2015		
対象経費	162,871円	支援金額	76,000円

事業の目的・内容	目的 佐久地域を中心に活動する市民活動団体の活動と、その背景にある課題を広く周知するとともに、縁で繋ぐことを目的とする。児童養護施設出身者が沢山の人の縁やかかわりを持つことによって、社会に順応していけるように応援する。
	内容 市民活動団体のブース出展 ステージでのライブやダンスパフォーマンス バザー、飲食ブースを企画、実行する。

事業の活動実績	日時; 2015年5月31日(日) 10:00~16:00 場所; ミレニアムパーク(佐久平駅隣) ステージパフォーマンス、市民活動団体の紹介、バザー・飲食ブースの設置。 <ステージパフォーマンス> ・ISAK with 軽学音楽隊(インターナショナルスクールの生徒と軽井沢学園の子どものグローバルバンド) ・トークライブ: 小宮山洋子氏(元厚生労働大臣)&高根英貴氏(軽井沢学園職員) ・臼田中学校吹奏楽部 ・KDCきつず&ぱすてる(ダンス) 他7団体 計11団体によるパフォーマンス。(幼稚園児から小学生のダンス、中学生のマーチング、高校生のコーラス、ご当地アイドルグループ、おやじバンド、元厚生労働大臣のトークライブ)
	<市民活動団体の出店ブース> ・社会福祉法人法延会軽井沢学園 ・そらねこ会 ・里山クラブ ・卯の花作業所 ・ちいさがた福祉会・ナナーラ・おやつ工房 5団体の市民活動をパネルで紹介した。



事業の成果・効果	個々で活動をしていた市民活動団体が、紹介できる場の限界を感じていたが、GOENフェスティバルを開催することにより、幅広い人々に知ってもらい、市民活動団体、参加された市民の方と新たな縁によりつながり、各団体も更なる活力を見出すことができた。 来場者には、バザー等のおつりに必ず5円を返し、ご縁の繋がりを意識してもらい、善意の縁でつなぐことを感じてもらえた。
	市民活動団体、施設、市民等を善意と縁で繋ぎ、児童施設のことで知ってもらい、また施設出身者が、大勢の人とかかわりを持ち、社会に順応していけるように応援できた。
	児童養護施設(軽井沢学園)は、サポート会員の登録を増やすことができ、子供たちへの支援の輪が拡大した。  佐久平駅周辺の賑わいを創出することができた。  (来場者数: 1,500人)

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ ② 多少の変更があった ③ 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 当日配布のフライヤーの作成を増やしたため。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	毎年開催予定・・・実行委員会を開き準備を進める。 更に参加者を増やすべく、ワークショップを開催する。
---------	---